

就労移行支援事業

今回は、障がい者雇用をされている「株式会社 駿河屋魚一」様をご紹介いたします。就労移行支援からは、アスモ店に1名、エブリフレスポ店に1名の計2名の方が就職されています。

アスモ店村田店長、エブリフレスポ店中谷店長から貴重なご意見をいただきました。



御社の障がい者雇用に対するお考えは？



村田店長・・・飛騨地域で商売をさせて頂いている企業として、障がい者雇用は地域活性化の意味でもとても重要であると考えます。障がい者の方が生き生きとやりがいを持って働ける企業は、当然他の従業員も働きやすい職場であり、そういった企業になりたいと思います。



中谷店長・・・地域に必要としていただける企業を目指し、飛騨地域で商売をさせて頂いている企業として、障がい者雇用はとても重要であると考えております。障がい者の方や健常者の方といった区別なく、一人一人が生き生きとやりがいを持って働ける企業となれるよう働きやすい職場にしたいと思っています。

青空作業所の障がい者を実際に雇用されての率直なご意見は？

村田店長・・・素直に取り組んでいる姿や、少し難しくても挑戦する姿はとても良く思えます。時間が少しかかってしまう事や、覚える事など、難しい点もありますが、経験しないと分からないし、その後の成長にもならないので、徐々に身につけてくると思って試しています。本人の頑張り次第でもっとできることはあるはずですよ。

中谷店長・・・現在、当店青果部で働いていただいておりますが、初めのころよりも少しずつではありますが、本人も努力していると思います。上手くいくこともあれば、上手くいかないこともあり悩んでいる部分もあると思いますが、それは障がい者だからというわけではなく、人としてあって当たり前なことだと感じています。障がい者を雇用したという気持ちはなく、一人のスタッフとしてこれからも助け合っていければと思っています。

各種食料品小売業で働くうえで必要なことは？

村田店長・・・誠実、明るさ、素直さ。チームワーク、協調性、人を思う事。

中谷店長・・・弊社は小売業であるとともにサービス業にも該当します。お客様があって、初めて成り立つものなので、お客様への感謝の気持ちを持ち続けられるのが大切です。また小売業に関わらず、一人で仕事をしているわけではありません。一緒に働くスタッフが多数いますので、他のスタッフに対しても感謝と敬意を抱きながら働けるかも重要です。周りに対して感謝の気持ちを持ち、謙虚に接することができるのが大切ではないかと感じています。



障がい者を雇用している企業として青空作業所に取り組んでほしいことは？

村田店長・・・送り出していただけだけでなく、今後も常に障がい者の方の相談役になっていただき、職場で言えない事、悩み等ある様なら、我社の勉強の為にもぜひ教えてもらいたいです。会社、店舗等自由に見に来てあげてください。

中谷店長・・・引き続き弊社で働いて下さっているスタッフへの相談役になっていただき、彼らが考え、悩んでいることを私たちに教えて頂けると嬉しいです。弊社としてもまだまだ勉強不足な点が多く間違った接し方もあるかと思っておりますので、様々な点で教えて頂きたいと思っております。



☆お店のPR☆



アスモ店・・・地域一番店を目指しています。お客様が安心して、楽しくお買い物できる店であると共に食を通じて、健康、企画、地域貢献等、地元が元気になるような店舗でありたいと思います。

エブリフレスポ店・・・当店エブリフレスポ店は飛騨地域では珍しいオープンタイプの商業施設のスーパーマーケットとして営業させて頂いております。様々なテナントが集まっていることもあり、お客様にとって非常にお買い物しやすい施設だと感じております。そのお買い物しやすいという点を大切に飛騨地域の方に愛される施設かつ店舗となれるように今後もお客様に喜んでいただけるスーパーマーケットになれるように頑張っております。



青空作業所では、11月から新規事業「就労定着支援」が始まります。

これまで青空作業所の訓練を受けた方が就職されるとスタッフが定期的に職場を訪問し、働いている様子を見に行き、困ったことなどがあれば相談を行っていました。

これからは就労定着支援という福祉サービスとしてフォローアップを行うこととなります。これまでと同様に就職後の支援を希望される方は、手続きとして相談支援事業所にて利用計画を立てていただき、最寄りの市町村へ利用申請書を提出していただく必要があります。

このサービスを利用できる対象者は、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、自立訓練の利用を経て一般企業へ就職し、6ヶ月が経過した方です。（就職後6ヶ月間は、利用した福祉サービス事業所がフォローアップすることが定められています。）利用にあたって費用はかかりません。（高山市在住の方。その他市町村在住の方は、最寄りの市町村窓口にてお問い合わせください。）

「働き続けることは、就職することより難しい」と言われています。どうかこの新しいサービス「就労定着支援」を利用していただき、豊かな職業生活を送って頂きたいと思っております。

就労継続支援 B 型事業

あじさい会の行事の様子をお伝えします！

9月にBBQを行いました。

少し涼しくなってからと思っていましたが、思ったよりも暑くてみんな汗をかいていました(笑)☀

今回の目的は……

「みんなで協力し合って準備と片づけを行うです！」
前日から買い出しやテーブルセット、器具や必要な物を準備してもらいました。



食事会に行ってきました♪

今回は3グループに分かれて、希望するお店にそれぞれ分かれて行きました。

好きなメニューを金額の上限以内を選ぶのに、悩むメンバーもいました。普段行ったことがないお店に、嬉しそうに過ごす利用者さんもみえました。利用者さんの声を届けます。

いろいろな人たちと食事ができて楽しかったです。 Y・T



ココスで茄子のトマトソーススパゲティを食べました。すごくヘルシーで、めっちゃうまかったです。金額を越えないように選ぶのが、大変でした。 大平 貴也

ココスではうえのさんと一緒にごはんを食べました。酢豚の味がとても美味しかったです。肉の旨みがあって、柔らかかったです。また行きたいです。 大崎 壮真



毎年恒例の食事会ですが今回もお腹いっぱい食べられて満足でした！！1000円以下のメニュー限定でしたがガッツリ食べられGood！！でした。 西 真輝

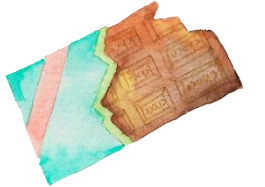


青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<http://welcomhida.web.fc2.com/>
平成30年 10月 20日発行 第38号



ご挨拶



理事長 柏木 真司

日頃より、ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。今年の夏は大変な猛暑でしたが、秋の訪れと共に大変過ごしやすい時季となりました。

私たち障がい者の就労支援に関わる者として今最も関心の高いニュースが、中央省庁の障がい者雇用の水増し問題です。障害者雇用促進法における法定雇用率では、民間企業が2.2%、国、地方公共団体は2.5%の障がい者を雇用することと定められています。

この数値目標を達成するため、民間企業は様々な工夫をしながら障がい者雇用に取り組み、その結果多くの障がいのある方が職業自立をされています。昨今、確実に障害者雇用が進んでいることを私たちは実感しています。

民間企業が取り組んでいることが国、地方公共団体に出来ない理由はどこにあるのでしょうか。様々な要因は考えられますが、一番は、障がいについて知らないことではないでしょうか。残念なことではありますが、実際に行政関係者から「身体障害のことはわかるが、精神障害については良くわからないので、一緒に働くのは不安」といった声を聞いたことがあります。

障害者差別解消法においても合理的配慮の義務がある国、地方公共団体が「わからない」では済まされません。この水増し問題を契機に中央省庁のみならず、県や市町村での障がい者雇用も促進されることを期待します。

